

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 9 月 13 日 (2007.9.13)

【公表番号】特表 2007-504175 (P2007-504175A)

【公表日】平成 19 年 3 月 1 日 (2007.3.1)

【年通号数】公開・登録公報 2007-008

【出願番号】特願 2006-525021 (P2006-525021)

【国際特許分類】

A 0 1 N 25/18 (2006.01)

B 6 5 D 83/00 (2006.01)

A 0 1 M 1/20 (2006.01)

A 0 1 N 25/34 (2006.01)

A 0 1 P 7/04 (2006.01)

A 0 1 N 25/02 (2006.01)

【F I】

A 0 1 N 25/18 1 0 2 A

B 6 5 D 83/00 F

A 0 1 M 1/20 C

A 0 1 N 25/34 A

A 0 1 N 25/34 Z

A 0 1 P 7/04

A 0 1 N 25/02

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 7 月 13 日 (2007.7.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

揮発液体をリザーバから大気中に散布するように適合された装置であって、散布は、液体と接触している伝達部材と、該伝達部材と液体伝達接触している毛細管部材とによって達成され、該毛細管部材は、主毛細管チャンネルを保持する気化表面を備え、これらの主毛細管チャンネルの少なくともいくつかは、少なくとも 1 つの副毛細管チャンネルと交差しており、副毛細管チャンネルの横断面積は、前記主チャンネルのそれよりも実質的に小さく、それによって液体が前記主チャンネルと前記副チャンネルの両方に流れるようにされている、前記装置。

【請求項 2】

伝達部材が実質的に円柱状または円筒状の多孔質芯であって、気化表面が該芯から実質的に直角に延びるシートであり、該シートが少なくとも 1 つの表面上に毛細管チャンネルを保持している、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

揮発性液体を、気化表面から気化によって大気中に散布する方法であって、

リザーバから伝達手段によって、それと液体伝達接触している気化表面に液体を移送することを含み、この気化表面は主毛細管チャンネルを含み、これらの主毛細管チャンネルの少なくともいくつかに、少なくとも 1 つの副毛細管チャンネルが交差しており、この副毛細管チャンネルの横断面積は、主チャンネルのそれよりも実質的に小さく、それによって液体が主

チャンネルおよび副チャンネルの両方に流れるようする、前記方法。